

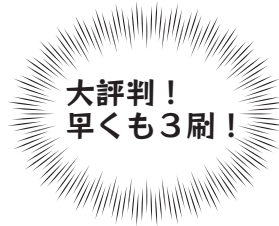
社会・経済 の姿

戦後社会保障の証言 -- 厚生官僚 120 時間オーラルヒストリー

菅沼 隆 (立教大学教授),
土田 武史 (早稲田大学名誉教授),
岩永 理恵 (日本女子大学准教授),
田中 聡一郎 (関東学院大学講師) / 編

2018年4月 A5判上製カバー付, 400ページ
定価 6,048円 (本体 5,600円) ISBN 978-4-641-17435-1

社会保障制度の成立と展開に関する重要なトピックについて、
政策立案の舞台裏で活躍した厚生省の官僚にオーラルヒストリーの
手法によるインタビューを行い、その証言を収録し、解説を加えた。
官僚を中心とした意思決定過程や知られざる舞台裏を明らかにする。

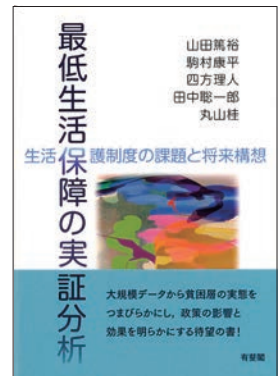


最低生活保障の実証分析 -- 生活保護制度の課題と将来構想

山田 篤裕 (慶應義塾大学教授), 駒村 康平 (慶應義塾大学教授),
四方 理人 (関西学院大学准教授), 田中 聡一郎 (関東学院大学講師),
丸山 桂 (成蹊大学教授) / 著

2018年7月 A5判並製カバー付, 252ページ
定価 3,132円 (本体 2,900円) ISBN 978-4-641-17437-5

誰もが健康で文化的な最低限度の生活を営むことができる制度をつくるには、
生活保護制度を中心とする日本の最低生活保障の現状と政策変更の影響を、
独自の調査を含む大規模データに基づき定量的に分析。今後の最低生活保障のあり方を探る。

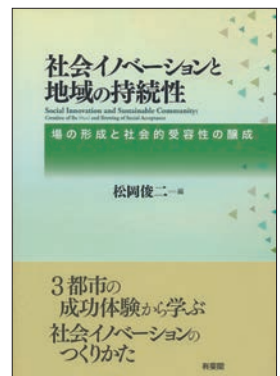


社会イノベーションと地域の持続性 -- 場の形成と社会的受容性の醸成

松岡 俊二 (早稲田大学教授) / 編

2018年12月 A5判上製カバー付, 3058ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-16534-2

「地方消滅」と「地方創生」の狭間で揺れる地域社会。
地域の持続性を高めるためには何が重要になってくるのか、
市民・企業・自治体が連携して社会イノベーションの創出に成功した、
3つの地方都市の経験を手がかりに、社会イノベーションのモデル化を試みる。

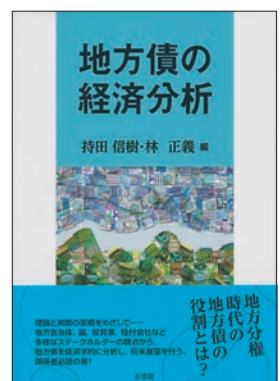


地方債の経済分析

持田 信樹 (東京大学教授), 林 正義 (東京大学教授) / 編

2018年12月 A5判上製カバー付, 430ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-16532-8

2000年代になって地方債発行の制度変更が行われ、国の関与が弱くなりプレーヤーが多様になってきている。
地方自治体、国、投資家、格付会社など多様なステークホルダーの観点から地方債を経済学的に分析し
将来展望を行う、関係者必読の書。



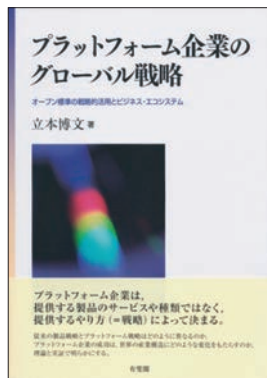


プラットフォーム企業のグローバル戦略 -- オープン標準の戦略的活用と ビジネス・エコシステム

立本 博文 (筑波大学教授) / 著

2017年4月 A5判上製カバー付, 414ページ
定価 5,832円 (本体 5,400円) ISBN 978-4-641-16501-4

ネットワークで繋がる産業では、キャッチアップ型企業は標準を採用し、プラットフォーム企業の影響力が増す。それらのプロセスを跡付け、プラットフォーム企業の成功が国際的産業構造にもたらす影響を、携帯電話、パソコン、車載エレクトロニクス等の産業の事例により明らかにする。



2018年度(第34回)組織学会高宮賞(著書部門) 第46回日本公認会計士協会学術賞(MCS賞)
国際ビジネス研究学会第24期学会賞(書籍の部) 第8回(2017年)多国籍企業学会賞(入江猪太郎賞)

派遣労働という働き方 -- 市場と組織の間隙

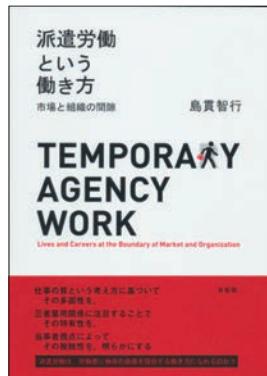
島貫 智行 (一橋大学教授) / 著

2017年4月 A5判上製カバー付, 342ページ
定価 4,644円 (本体 4,300円) ISBN 978-4-641-16497-0

制度改正等にも促される形で増加傾向にある派遣労働者は、分離した指揮命令関係と雇用関係のもと、いかなる困難に直面し、それをどう乗り越えようとしているか。質的調査で当事者視点に迫りつつ、「仕事の質」概念によって、その多様な側面を総合的に検討する。



2018年日本労務学会賞(学術賞)
2018年度(第34回)組織学会高宮賞(著書部門)



組織アイデンティティの機能 -- 環境変化への対応における役割

佐藤 秀典 (筑波大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 220ページ
定価 4,752円 (本体 4,400円) ISBN 978-4-641-16535-9

組織のメンバーは、それぞれ自組織についてのイメージを持っている。そのことが、変化する環境へ対応しようとする際どのように影響するのか。そして、結果として「落とし穴にはまる組織」のメカニズムはどのようなものか。損害保険業における事例をもとに明らかにする。



ハイブリッド製品の開発戦略

-- 日本アニメーション産業の新技术と既存技術の統合マネジメント

一小路 武安 (東洋大学准教授) / 著

2017年12月 A5判上製カバー付, 234ページ
定価 4,536円 (本体 4,200円) ISBN 978-4-641-16519-9

技術も顧客ニーズも多様化する現代、新しい技術によって製品開発は複雑になる。新技术導入に寛容な技術者の存在を明らかにし、既存技術と新技术を融合したハイブリッド製品開発のマネジメントについて、アニメーション業界の内製・外注それぞれの事例より分析する。



インターネットビジネスの競争戦略

-- オンライン証券の独自性の構築メカニズムと模倣の二面性

高井 文子 (横浜国立大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 310ページ
定価 5,292円 (本体 4,900円) ISBN 978-4-641-16533-5

日本のオンライン証券市場は、比較的容易に他社の戦略の模倣が可能な業界であるにもかかわらず、黎明期には模倣が数年にわたって起こらず、その結果、企業間に営業利益率等のパフォーマンスに大きな違いが生じた。一体なぜなのか。そのメカニズムを明らかにする。





マーケティング・リサーチのわな -- 嫌いだけれど買う人たちの研究

古川 一郎 (武蔵野大学教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 256ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-16536-6

科学的なマーケティングの限界を豊富な事例や実証によって明らかにし、あるべきマーケティング・リサーチの姿を描き出す。本質的なテーマを多面的にとらえつつ、かみ砕いた解説に基づいていて、マーケターやビジネスパーソン必読の書。

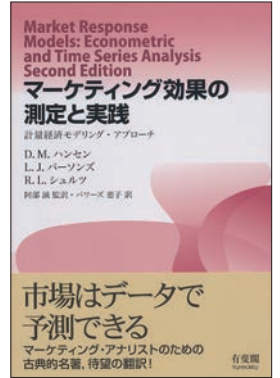


マーケティング効果の測定と実践 -- 計量経済モデリング・アプローチ

D.M. ハンセン (カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授),
L.J. パーソンズ (ジョージア工科大学名誉教授),
R.L. シュルツ (アイオワ大学名誉教授) / 著
阿部 誠 (東京大学教授) / 監訳
パワーズ 恵子 (Neustar, Inc. マーケットシェア) / 訳

2018年8月 A5判並製カバー付, 484ページ
定価 5,940円 (本体 5,500円) ISBN 978-4-641-16520-5

世界的に定評のあるマーケティング・サイエンスの体系書を日本語に初翻訳。マーケティングに不可欠なビッグ・データによる定量的な分析について、豊富な事例で基礎から現場レベルまで余すことなく解説。プロのマーケターやコンサルタントにもおすすめの一冊。



そのクチコミは効くのか

久保田 進彦 (青山学院大学教授), 澁谷 覚 (学習院大学教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 212ページ
定価 3,996円 (本体 3,700円) ISBN 978-4-641-16537-3

クチコミは消費者にどのような影響を与えるのか、クチコミ・プラットフォームの運営主体によってその効果は変わるのか、といったクチコミを巡るさまざまな疑問点について、実験に基づいて答えていく。実務面、さらに消費者保護の観点からも、示唆に富む一冊。

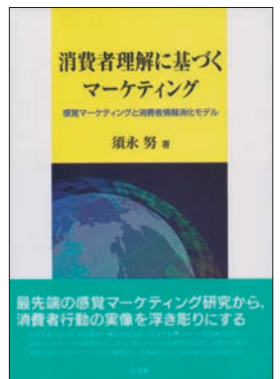


消費者理解に基づくマーケティング -- 感覚マーケティングと消費者情報消化モデル

須永 努 (関西学院大学教授) / 著

2018年11月 A5判上製カバー付, 226ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-16531-1

色や音楽 (BGM) が消費者行動へ及ぼす影響について実証研究を行い、感覚マーケティングの効果を明らかにし、新しいモデルを提唱する。消費者行動の本質に基づいたマーケティングを構想して、実務面においても、有益な示唆を提示する力作。



消費者視点の小売イノベーション -- オムニ・チャネル時代の食品スーパー

高橋 広行 (同志社大学准教授) / 著

2018年11月 A5判上製カバー付 248ページ
定価 3,672円 (本体 3,400円) ISBN 978-4-641-16530-4

消費者視点に立った食品スーパーのイノベーションとはなにか。消費者の求める価値をさまざまな枠組みでとらえ、先端的事例を分析。デジタル時代のマーケティング考察も行い、理論的・実務的示唆を導き出す。図表を多用し、いきいきと解説。





現代日本の政党政治

-- 選挙制度改革は何をもたらしたのか

濱本 真輔 (大阪大学准教授) / 著

2018年8月 A5判上製カバー付, 310ページ
定価 5,184円 (本体 4,800円) ISBN 978-4-641-14925-0

政党の離合集散が続く近年の日本政治。はたして1994年に行われた選挙制度改革は、期待通りの効果を日本政治にもたらしたのだろうか。本書は、制度変化から議員行動、政党組織、政党政治に至るまで、制度改革後の日本政治の変化を包括的に分析する。



維新支持の分析 -- ポピュリズムか、有権者の合理性か

善教 将大 (関西学院大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 272ページ
定価 4,212円 (本体 3,900円) ISBN 978-4-641-14927-4

「大阪維新」の政治について、有権者の維新への支持態度を実証的に分析することによって明らかにする。サーベイ実験などの手法を用いて、維新に扇動された有権者といったポピュリズム論を反証する。また有権者の批判的志向性を見出し、民主主義の可能性を探る。



不利益分配の政治学 -- 地方自治体における政策廃止

柳 至 (琉球大学准教授) / 著

2018年9月 A5判上製カバー付, 270ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-14926-7

近年、膨大な財政赤字や人口減少を背景として、政策廃止という不利益の分配がなされようとしている。これまで起こりにくいとされてきた政策の廃止が、いかなる過程を経て実現したのかを、土地開発公社、自治体病院事業、ダム事業の事例を取り上げ、明らかにする。



越境の国際政治

-- 国境を越える人々と国家間関係

田所 昌幸 (慶應義塾大学教授) / 著

2018年11月 A5判上製カバー付, 326ページ
定価 5,940円 (本体 5,500円) ISBN 978-4-641-14924-3

戦争や迫害によって移動を強いられる人々、観光や留学、商業目的で自ら移動する人々。現代の世界は、多くの人々が国境を越えて行き交っている。こうした人の移動は国家と国際政治にどのような意味を持っているのか、国際政治学の観点から多角的に検討。



有斐閣

